

5-4 地域別まちづくり構想

ここでは、地域別の問題点と課題を踏まえて、各地域の将来都市構想を明確にしていく。

(1) 福岡地域

① 土地利用

住宅地

市街地中心部は、低層中高密度の市街地形成を図る中で、オープンスペースを確保して火災等の災害に強いまちとしていくとともに、車社会に対応したまちとして道路体系の整備と駐車場確保、福祉高齢化社会に向けて施設や道路のバリアフリー化、人口定住策として空地・空家対策の実施を検討していく。

市街地周辺では、住宅団地整備の実施や必要に応じて区画整理事業等を推進するとともに、市街化にあわせて道路や公園などの都市基盤整備に努めて低層低密度の良好な市街地の形成を図っていく。

また住宅ニーズにあわせて、ゆとりある敷地の住宅地、低所得者層や若年層においても購入できる共同住宅、家庭菜園を備えた住宅、高齢者のためのケア付き住宅などの提供に努めていく。

高齢者用ケア住宅 菜園付きのイメージ



沿道型商業地

国道8号沿いは市街地の中央を通る重要な路線として、車での利便性が高いコンビニエンスストア、ファミリーレストランなどロードサイド型の商業施設やガソリンスタンドなどの自動車関連施設の立地を周辺の環境との調和を図る地区としていく。

また交通量が多い道路として沿道には町のPRや活性化に資する施設の立地も検討していく。



中心商業地

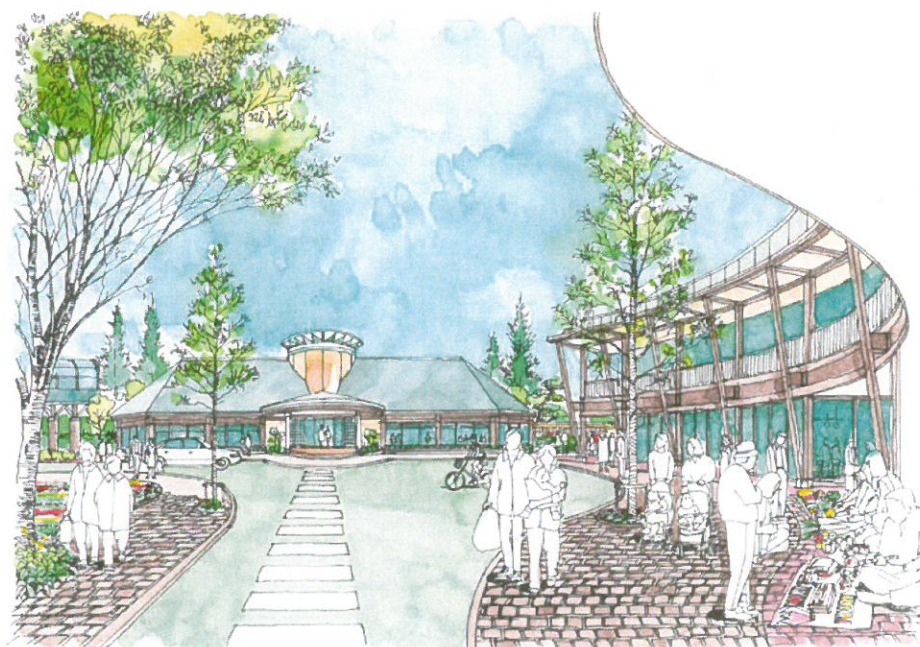
地元購買率を高め、周辺からも多くの人びとが訪れるような商業地としていくため、行政、民間、組織等が一体となって、中心市街地活性化事業などの活性化策を順次推進していくこととする。

既存の商店街は空地や空店舗が多いことから、これらの対策として伝統文化を見たり触れたり体験したりできる「菅笠の館」などのアミューズメント性の高い施設の整備を検討していく。または駐車場、ポケットパークなど住民や観光客が便利と思えるような土地の有効利用を図っていく。

旧北陸街道整備イメージ



みちの駅の整備イメージ



またJR福岡駅南については「福岡町駅南地区整備構想」に基づき、駅南の玄関口の整備や住宅と商業の複合施設など、にぎわいを創出する市街地としていく。整備にあたっては、駅前整備との連携を図りながら進めていくとともに、現況の土地利用を考慮して実現に向けて検討していく。

駅南広場のイメージ



駅南通りのイメージ



工業地

既存の工場は周辺との環境調和に配慮し、なるべく集約して立地させることにより住工混在を避けるように努めていく。

地域南東の工業系用途地域に新規工場を集約させていき、あわせて周辺幹線道路や福岡ICへ連絡する道路の整備を検討していく。

また、駅南に立地する工場については駅南再開発の構想にあわせて対応していく。

② 都市施設

主要幹線道路

広域圏を連絡する国道 8 号は町にとって重要な路線として位置づけられ、通過交通を処理する道路であるとともに、高岡市や小矢部市と町の中心部を連絡する道路として、機能強化に努めていく。

また町の中心部を通るシンボリックな道路であることから、街路樹等による緑化に努めて景観向上を図るとともに、ゆとりある自転車歩行者道の確保を、周辺との一体的な整備により実現していくものとする。

幹線道路

福岡地域における幹線道路は、小矢部川や J R 北陸本線により地域が分断されないように配置し、市街地東部においても J R 北陸本線を横断する立体交差を検討していく。

また福岡 I C と市街地を連絡する都市計画道路福岡インター上蓑線においては、用途地域南部の幹線道路として、さらに東側への延伸を検討していく。

市街地では歩行者及び自転車の通行が多いことから、交差点の安全性の確保や歩行者自転車道の確保に努めていくこととする。

市街地内の道路

現在整備されている都市計画道路の他、国道や県道の整備にも努めていき、車社会に対応した道路網の形成を図っていく。また市街地へ車で訪れる人のための駐車場の確保も努めていく。

市街地の中心部を通る旧北陸街道は、歩行者を優先とした道路とし、沿道に立地する歴史的な伝統家屋の雰囲気を保全しながら、その景観と整合した照明施設や舗装等のグレードアップ化を検討していく。

公共交通

J R 福岡駅は交通の結節点としてタクシー乗り場やバス停などを備えた駅前広場の整備を検討していくとともに、あわせて駐車場や駐輪場の整備を検討していく。また将来的には駅南にも交通広場を設けて南北自由通路の整備を検討していく。

バス路線は駅、商業施設、公共施設、教育施設などを連絡するよう努めていく。また市街地内を移動する手段として「ミニ巡回バス」の検討や「レンタサイクル」の実施などを検討していく。

上下水道、河川

下水道は、整備が遅れている鉄道南側において市街化の動向を踏まえながら、下水道の普及促進に努めていく。

河川は、治水対策や水質向上を基本としながら、既存の岸渡川の桜並木や菘川親水公園の活用にも努めていくとともに、市街地を流れる水路や河川はうるおいとやすらぎを与えてくれる親水空間として整備を検討していく。

菘川を活用した整備イメージ



公園緑地

既成市街地内の公園緑地は、空地または道路の残地活用、神社仏閣、文化財、公共施設周辺の利用、または市街地を流れる水路や河川の活用等を行い、公園緑地の確保に努めていく。

また市街地の公園緑地は、環境やレクリエーションの観点だけでなく避難地としての機能を兼ね備えた防災公園の配置も検討していく。

清水を利用した公園



市街地整備事業

駅前周辺や駅南地区において、にぎわいを創出していくために区画整理事業等による市街地再開発を検討していく。

また用途地域内においてまとまって農地が残り道路も幅員が狭い地域においては、区画整理事業の導入を検討し、良好な市街地の形成に努めていく。

③ 都市景観

都市的な景観

J R福岡駅は、町の玄関口として駅舎がリニューアルされたが、その周辺についても一体的に景観向上を努めていくこととする。

駅前周辺での新たな景観整備にあたっては、旧北陸街道沿いの雰囲気にあわせながら、町の玄関口にふさわしい景観の創出を図っていくものとする。

J R福岡駅周辺の整備イメージ



歴史的な景観

旧北陸街道には宿場町として栄えた趣を残す伝統的な家屋が残ることから、その建物景観と調和した景観向上に努めていく。街道の雰囲気のある往還松を新たに整備していくことも検討していく。

市街地に点在する神社仏閣は歴史を伝える景観として維持保全に努めていく。

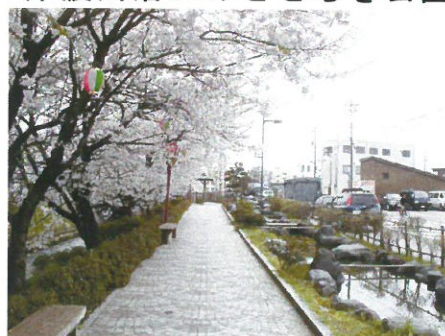
街道沿いの歴史的建物



自然的な景観

市街地の中心部を巻くように流れている岸渡川には、両岸に桜が植えられている。ここは花の名所として町民に親しまれ、住民が誇りに思う代表的な場所となっている。これら市街地にある自然的景観を保全または活用に努めていくこととする。

岸渡川沿いのせせらぎ公園



サイン計画

公共公益施設へ案内するサインは福岡町らしさを引き出した親しみのあるデザインとし、サインの統一化に努めていく。

また、町のキャッチフレーズを形にしたモニュメントなど親しみのあるサイン計画に努めていく。

キャッチフレーズを形にしたモニュメント



景観の啓蒙等

景観を向上させていくためには、行政主導で行うのではなく住民自らが景観に対して関心を持つように啓蒙に努めていく。景観向上を図るための活動を住民主導型で行うように進めていき、景観に対する協定や条例等の活用にも努めていく。

④ 都市環境

市街地の住環境

市街地は建物が密集し道路が狭いことから、共同建替等も検討して公共空間の確保に努めていくとともに、空地などを利用してポケットパークなどのオープンスペースを確保してゆとりとうるおいのある市街地としていく。

また、市街地には空地や空家が多く存在することから、これらを活用して市街地居住対策や商業活性化策などの施策に努めていく。

少子高齢化対策

少子化対策として市街地に立地する公共公益施設を活用して子育ての支援に努めていくとともに、若年層に魅力のある施設の整備や安価な居住地の提供に努めていく。

高齢化対策として、市街地は公共公益施設や商業施設など日常的に利用される施設を集約して、歩いて暮らせるまちづくりを進めていくとともに、施設や道路のバリアフリー化に努めて高齢者が快適に暮らせる空間の提供に努めていく。また住宅地は人びとが集う場を整備してコミュニティ醸成を図るとともにケア付き住宅の提供にも努めていく。

雪の対策と活用

積雪対策として、冬期間においても道路空間を確保していくこととする。市街地は、歩行者が多い場所であることから無散水消雪などの実施についても検討していく。また、住宅が密集して高齢者が多い場所として、屋根雪おろし対策についても検討していくこととする。

その他、雪のイベントの企画や雪の降らない地域との交流など雪の利活用を検討していく。

交流

交流人口を増加させるべく、「つくりもん祭」などのイベント開催時だけでなく年中通して魅力的な市街地づくりに努めていく。そのためには、「ミュゼふくおかカメラ館」の活用の他、魅力ある町の文化などを活かして交流の促進に努めていくこととする。

ミュゼふくおかカメラ館



町の文化である雅楽の振興



防災、公害防止

市街地は道路が狭く木造住宅が密集していることから、火災等の危険性が高く緊急時においても活動が円滑に行えない可能性があることから、災害に強いまちとして市街地整備に努めていくとともに、避難路や避難地の確保に努めていく。

公害防止としては、住工混在を避けて工場周辺緑化を図るとともに、交通量の多い幹線道路沿いの緑化などを推進し、公害を未然に防ぐ対策に努めていく。

地域別将来構想図 (福岡地域)

- 都市の快適性を備えた良好な住環境の整備**
- ・災害に強いまちづくり
 - ・駐車場の確保
 - ・人口定住策の実施
 - ・空家・空地対策
 - ・住宅と商業が集積する便利なまちの整備
 - ・福祉高齢対策の実施
- 中心としてふさわしい魅力と賑わいの創出**
- ・空き店舗対策
 - ・商業業務の集積
 - ・文化交流施設の整備
 - ・伝統文化の継承
 - ・区画整理事業の検討

- 文化情報創造拠点**
町の魅力を活用して賑わいを創出
- ・既存施設の活用
 - ・「菅笠の館」などアミューズメント性の高い施設の整備を検討
 - ・伝統文化体験施設
- 新規機能導入拠点**
集客力のある施設の整備または誘致
- ・新規商業業務施設の誘致または支援
 - ・公共施設の活用
 - ・複合型施設の検討

- 商業拠点**
魅力ある商業の集積
- ・既存施設の活性化
 - ・集客力のある施設の整備
 - ・新規事業者へ支援
- 交通結節拠点**
玄関口としてふさわしい機能の充実
- ・駅前広場の整備
 - ・駐車場、駐輪場の整備
 - ・南北自由通路整備
 - ・駅南の玄関口整備
 - ・景観の向上と創出

- 公共公益施設の活用**
- ・少子化対策として子育て支援施設
 - ・高齢者のためのデイケア施設の整備
 - ・語らいの場の提供
 - ・文化活動の推進や伝統文化の継承
 - ・防災拠点や避難地として機能充実

- 車での利用が便利なサービス施設の整備**
- ・沿道型商業施設
 - ・自動車関連施設
 - ・倉庫や物流施設等

- 古い街並みが残された歩行者優先道路の整備**
- ・歩行者優先道路の整備
 - ・道路グレードアップによる景観の向上
 - ・建物景観の維持と保全
 - ・空地対策の実施
 - ・往還松の植樹の検討

- うるおいとやすらぎの場となる河川の整備**
- ・桜並木の保全と活用
 - ・自然景観の保全と活用
 - ・親水空間の整備
 - ・護岸の多自然型化
 - ・水質の浄化と周辺美化
 - ・鉄道南側の下水道普及を促進
 - ・治水対策の実施

- 緑豊かな広域幹線道路の整備**
- ・道路の機能強化
 - ・ゆとりある自転車歩行者道の整備
 - ・街路樹等による緑化

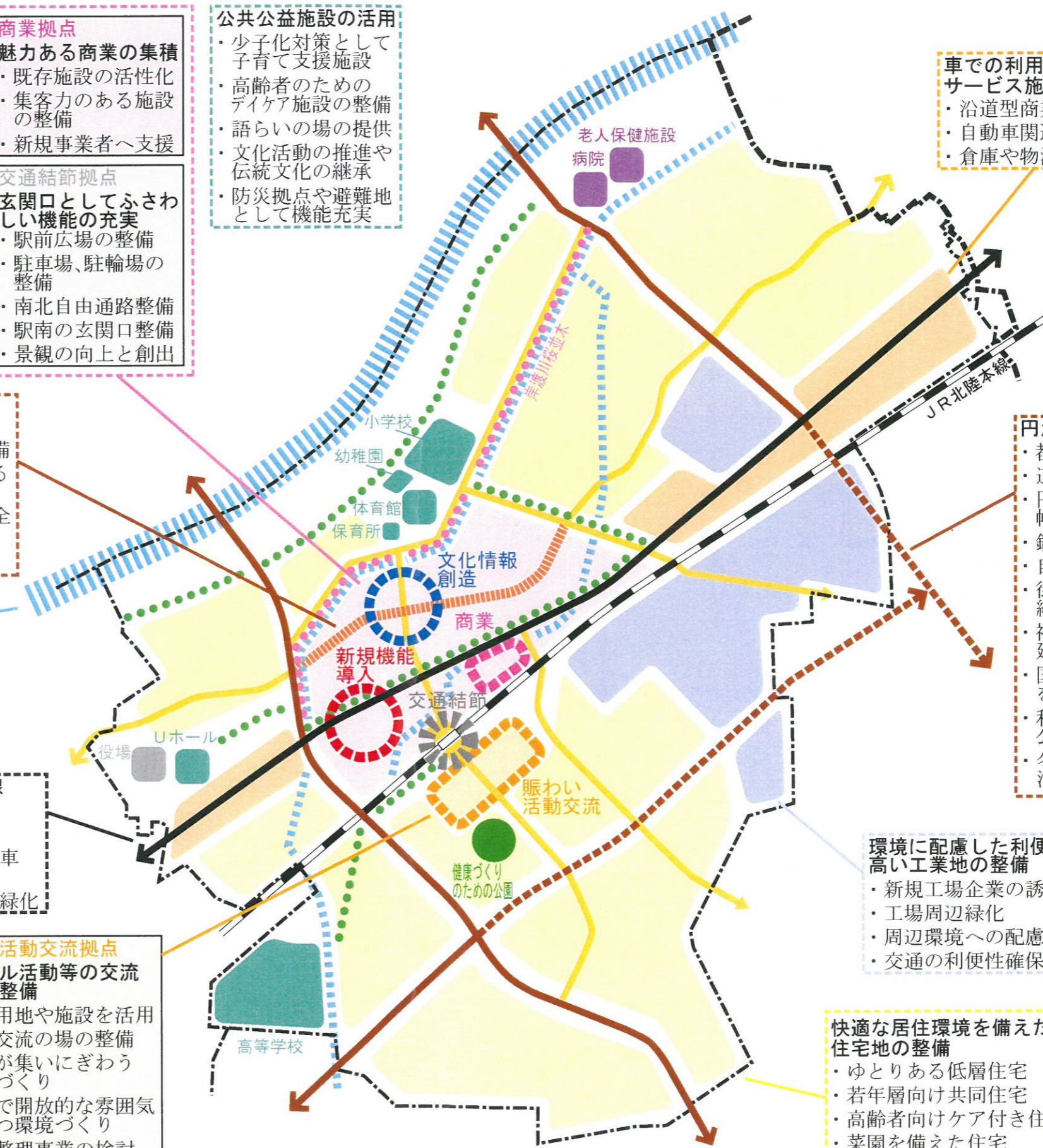
- うるおいが感じられる公園緑地の整備**
- ・身近な公園緑地の整備
 - ・防災のための公園整備
 - ・健康づくりのための公園や緑道の整備
 - ・歩行ネットワークを考慮した緑道の整備
 - ・文化財などを活用した公園緑地の整備
 - ・賑わいを創出する公園緑地の整備

- 賑わい活動交流拠点**
サークル活動等の交流拠点の整備
- ・工場用地や施設を活用
 - ・活動交流の場の整備
 - ・若者が集いにぎわう空間づくり
 - ・自由で開放的な雰囲気を持つ環境づくり
 - ・区画整理事業の検討

- 円滑で安全な交通の確保**
- ・都市計画道路の整備
 - ・道路交通網の整備
 - ・円滑に交通処理できる幅員の確保
 - ・鉄道との立体交差検討
 - ・自転車歩行者道の整備
 - ・街路樹などによる沿道緑化の推進
 - ・福岡インター上葎線の延伸整備
 - ・国道8号と国道156号を連絡する道路の検討
 - ・利便性が高く効率的な公共交通の整備
 - ・冬期間における除雪、消融雪の充実

- 環境に配慮した利便性高い工業地の整備**
- ・新規工場企業の誘致
 - ・工場周辺緑化
 - ・周辺環境への配慮
 - ・交通の利便性確保

- 快適な居住環境を備えた住宅地の整備**
- ・ゆとりある低層住宅
 - ・若年層向け共同住宅
 - ・高齢者向けケア付き住宅
 - ・菜園を備えた住宅



凡 例	
	主要幹線道路
	幹線道路
	補助幹線道路
	緑 道
	河 川
	住 宅 地
	商 業 地
	工 業 地
	沿道利用地
	各種拠点

(2) 山王地域

① 土地利用

農村地域及び漁業地域

主に良好な農業生産の場、または良好な養鯉業の場として、まとまって農地や養鯉場に利用されているところは良好な農林漁業地として効率化を図っていく。

農地と住宅団地の調和



養鯉池

養鯉業は山王地域特有の産業で、鯉の町として町の特産にもなっていることから、鯉技術指導センターを活用して保全していくものとする。また鯉をテーマとした鯉の里公園を活用して、町の活性化に努めていくこととする。

養鯉池



② 都市施設

道路、公共交通

都市計画道路や県道などの整備促進を働きかけていくとともに、生活道路の整備促進に努めていく。県道などの幹線道路は交通量が多い路線として歩行者自転車道の確保を促進して安全性を高めていく。また国道8号と国道156号を円滑に連絡する道路の整備についても検討していく。

集落を巡回するバスなど住民の要望にそった効率的な公共交通の運行に努めていく。

公園、緑地

各集落の公民館や神社の周辺に、児童の公園やゲートボールが行える広場などの整備に努めていく。

また地域を流れる河川や水路の利用や鯉をテーマとした鯉の里公園の活用、または住民のニーズが高い施設や町の活性化に役立つ施設の整備を検討していく。

鯉の里公園



河川、下水道

河川は水質浄化を進めて親水性を高めていき、下水道は地域内に整備されていないことから、早急に計画を進めて全世帯の普及促進に努めていく。

山王川の桜



③ 都市景観

自然的景観

地域を流れる河川を活用して、自然あふれる景観の保全と景観の創出に努めていく。住宅団地等の市街化が進んできているが、これまでの自然景観を保全していくこととする。

歴史的景観

歴史的な景観として、文化財の「佐伯家」保全を周辺とあわせて努めていく他、屋敷林を持つ農家住宅の景観を地域住民が一体となって保全に努めていく。

また地域南側の養鯉池の風景は、地域の特徴として景観の保全または景観の創出に努めていき、条例や協定の活用も検討していく。

国指定重要文化財「佐伯家」



④ 都市環境

自然環境

工場立地や住宅団地開発が進んでいるが、周辺の農業地の環境への影響や地域を流れる河川の汚濁を防ぐように努めていく。

交流

鯉のまちとしての魅力や特徴をひきだして、町の活性化や地域間交流などに役立ていくように努めていく。

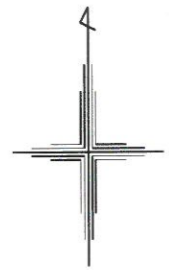
防災、公害防止

能越自動車道が通り、その南側に接して北陸新幹線が計画されているなかで、周辺の住宅地や農業地への環境配慮に努めていく。

河川は治水及び水質汚濁防止に努めていく。

工場立地や住宅団地開発にあっては、周辺の農業地としての環境が保たれるように緩衝緑地整備等に努めて、公害を未然に防ぐ施策を実施していく。

地域別将来構想図（山王地域）



円滑で安全な交通の確保

- ・都市計画道路の整備
- ・道路交通網の整備
- ・円滑に交通処理できる幅員の確保
- ・自転車歩行者道の整備
- ・街路樹などによる沿道緑化の推進
- ・国道8号と国道156号を連絡する道路の検討
- ・利便性が高く効率的な公共交通の整備
- ・冬期間における除雪体制の充実、消融雪の拡充

良好な農業・農村環境の保全

- ・農業生産の場として保全と活用
- ・農業基盤整備などの農村関連策の実施
- ・農村環境改善のための施設整備と支援
- ・田園地帯の景観保全

公園緑地の整備促進

- ・児童公園やゲートボール場の整備充実
- ・文化財を活用した公園緑地の整備
- ・河川を活用した公園緑地の整備
- ・鯉をテーマとした公園緑地の整備

養鯉業の特徴を活用

- ・養鯉の技術指導支援
- ・養鯉業の保全と振興
- ・養鯉池の景観保全
- ・鯉をテーマとした公園の整備
- ・地域活性化に活用

住宅団地の供給

- ・核家族化による住宅需要に対応
- ・土地の有効利用を実施
- ・周辺景観との調和を推進
- ・周辺農業地への環境に配慮

自動車道、新幹線周辺の環境保全

- ・騒音対策の実施
- ・周辺環境への配慮

地域コミュニティを育む施設の整備

- ・少子化対策として子育て支援施設
- ・高齢者のためのデイケア施設の整備
- ・語らいの場の提供
- ・周辺住民との交流や地域PRに活用
- ・防災拠点や避難地として機能充実

周辺環境への配慮

- ・周辺の水質保持
- ・公害を未然に防ぐ施策の実施
- ・緩衝緑地の整備
- ・周辺景観との調和

うるおいある河川空間の整備

- ・親水空間として活用
- ・植樹など緑化推進
- ・自然景観の保全
- ・水質浄化と環境美化
- ・下水道の普及促進
- ・治水対策の実施

凡	例
— (thick black line)	主要幹線道路
— (thick red line)	幹線道路
— (thick yellow line)	補助幹線道路
— (dotted blue line)	河川
— (yellow shaded area)	住宅団地
— (blue shaded area)	工場、工業団地
— (green shaded area)	農業地
— (dotted orange line)	養鯉業
○ (green circle)	文化財

(3) 大滝地域

① 土地利用

農村地域

まとまりある農業地は良好な農業生産の場として保全し、更なる効率性を高めるべく農業関連施策の実施を検討していく。

福岡 I C 周辺

福岡 I C 周辺は交通の利便性から流通業務地などの需要がある場合には、農林漁業との環境調和を図りながら立地を検討していく。



国道 8 号沿い

交通量が多い幹線道路として、ガソリンスタンドなどの自動車関連施設や沿道型商業施設の立地の需要に対して、周辺との環境調和を図りながら対応に努めていく。

② 都市施設

道路、公共交通

都市計画道路の活用その他、県道をはじめとする道路の整備促進して円滑に交通が処理できるように努めていく。あわせて幹線道路は自転車歩行者道を整備し、特に中学校周辺はネットワークを充実させていき安全性を向上に努めていく。また生活道路となる町道についても整備促進に努めていく。

公共交通は、既存のバスの活用を促進に努めていくとともに、住民のニーズにあったものとしながら効率的な運行に努めていく。

公園緑地

各集落にある神社や公民館周辺に身近な公園緑地を整備充実に努めていくとともに、木舟城址など歴史的財産はかつての形状を再現していきながら公園としての活用も検討していく。

木舟城址



河川、下水道

地域を流れる河川は、治水及び水質浄化に努めて親水性のある空間として活用を検討していくとともに、国道8号以南の供用開始の推進や鉄道以南において計画を推進して下水道の普及促進に努めていく。

③ 都市景観

自然的景観

主に農業生産の場として、田園景観の保全に努めていく。景観向上については住民が主体となって景観に対する意識の高揚を図り、条例や協定等の活用を検討し景観を保全していくように努めていく。

また周辺に見える山並みの景観についてもあわせて保全していくように努めていく。

福岡 I C の後ろに見える立山連邦



サイン

福岡 I C 周辺や国道8号沿いなどは町に訪れた人が最初に見る景観として、サイン計画などにより景観向上に努めていく。

また国道8号沿いなどは屋外広告物が多く立地するが、景観を阻害するものについては必要に応じて条例等により規制を努めていく。

国道8号のゲートサイン



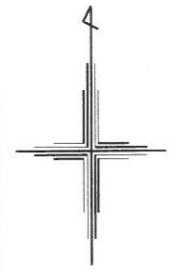
④ 都市環境

防災、公害防止

能越自動車道及び予定されている北陸新幹線に近接するところは山王地域同様に周辺環境に配慮に努めていく。

また既存工場周辺の環境への配慮に努めるとともに、新たな工場立地や住宅団地開発により周辺環境に影響がないように努めていく。

地域別将来構想図（大滝地域）



(4) 西五位地域

① 土地利用

農村地域

西五位地域は居住地が集落としてまとまっており、農地も比較的まとまって広がることから、更に効率の良い農業生産の場となるように努めていく。

核家族化などにより住宅の需要がある場合は、集落周辺において農林漁業との調和を図りながら住宅地を提供としていくこととする。

まとまって広がる農地



丘陵地

丘陵地は水源かん養や動植物の生息地として良好な自然環境を保全に努めていくものとする。また自然を活用してレクリエーション施設として機能する公園緑地の整備やハイキングやキャンプなど自然と親しむ施設の充実に努めていく。

② 都市施設

道路、公共交通

県道をはじめとする道路の整備に努め、周辺との連絡や地域で発生する交通を円滑に処理するとともに、自転車歩行者道の連続性のある整備を行い安全性を高めていくこととする。また生活道路となる町道の整備もあわせて努めていく。

公共交通は、住民の要望にそったバスの運行に努めていくとともに、効率の良いバスの運行体制を検討していく。

公園緑地

地域には丘陵地の自然を活用した福岡町民公園と小矢部川の自然を活用した土屋親水公園が整備されているが、いずれも未整備の部分がみられるため整備促進に努めていく。また土屋親水公園については河川敷であることを考慮して維持管理についても検討していく。

処理施設

地域には砺波地方衛生施設組合の処理施設が立地しているが、周辺への環境に影響がないように努めていく。

③ 都市景観

自然的景観

自然的な景観として、丘陵地の自然、良好な田園風景、または河川の景観の保全について、住民が主体となって地域ぐるみで進めていくものとする。また、フラワーラインやカンナ街道の沿道緑化などの取り組みについても積極的に進めていく。

カンナ街道



歴史的景観

歴史的な景観として、神社仏閣の境内林や文化財など地域の歴史を伝える景観を保全していく他、菅草の天日干しなど地域の特徴ある伝統的な景観の保全及び活用に努めていくものとする。

菅草天日干しの景観



眺望景観

福岡町民公園の北側に位置する展望台は平野を一望できる場所として、展望台周辺の整備に努めていくとともに、明確なアクセス道路の整備に努めていく。また眺望の良い他の地点についても展望台等の整備に努めていくこととする。

展望台から見た景色

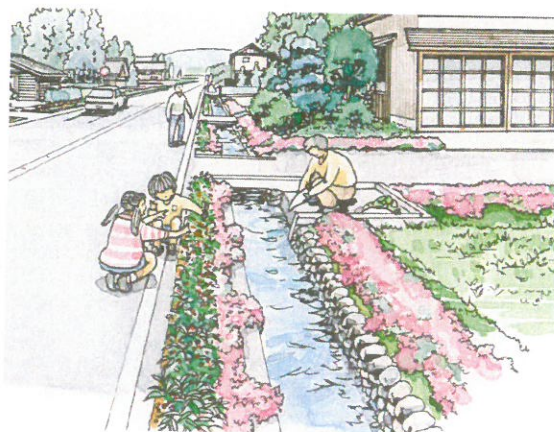


④ 都市環境

自然環境

自然が多い地域として丘陵地の自然の保全やまとまりのある良好な農村地域の保全に努めるとともに、自然に対する意識高揚を図り、環境美化意識の向上に努めていく。

農業用水路の活用



防災、公害防止

治山及び治水事業など災害から未然に防ぐための施策を実施に努めていくとともに、緊急時に備えて土屋親水公園に隣接する防災ステーションを拠点とした緊急体制の充実に努めていく。

公害防止として既存の工場または新たに工場が立地する場合は、周辺の環境に配慮していくため、工場周辺緑化や河川や水路の汚濁防止に努めていくこととする。

防災の拠点となる防災ステーション



地域別将来構想図 (西五位地域)



良好な丘陵地域の保全

- ・動植物の生息、生育地として保全
- ・水源かん養、治山のため保全
- ・林産業の振興と保全
- ・緑あふれる景観の保全
- ・レクリエーションとして活用

良好な農業・農村環境の保全

- ・農業生産の場として保全と活用
- ・農業基盤整備などの農村関連策の実施
- ・農村環境改善のための施設整備と支援
- ・田園地帯の景観保全

円滑で安全な交通の確保

- ・道路交通網の整備
- ・街路樹などによる沿道緑化の推進
- ・円滑に交通処理できる幅員の確保
- ・自転車歩行者道の整備
- ・利便性が高く効率的な公共交通の整備
- ・冬期間における除雪体制の充実、消融雪の拡充

自然環境の保全、自然との共生

- ・良好な眺望点の整備
- ・ハイキングコースなど施設整備を検討
- ・自然の保全と環境意識向上
- ・土砂採取場跡地の有効利用

うるおいある河川空間の整備

- ・親水空間として活用
- ・植樹など緑化推進
- ・自然景観の保全
- ・水質浄化と環境美化
- ・下水道の老朽改善
- ・治水対策の実施

土砂採取跡地の利用

- ・土砂採取跡地の有効利用

住宅団地の供給

- ・核家族化による住宅需要に対応
- ・周辺景観との調和を推進
- ・周辺農業地への環境に配慮

周辺環境への配慮

- ・周辺の水質保持
- ・公害を未然に防ぐ施策の実施
- ・緩衝緑地の整備
- ・周辺景観との調和

防災体制の充実

- ・防災拠点の活用
- ・災害を未然に防ぐ施策の実施
- ・緊急防災体制の整備充実

地域コミュニティを育む施設の整備

- ・少子化対策として子育て支援施設
- ・高齢者のためのデイケア施設の整備
- ・語らいの場の提供
- ・周辺住民との交流や地域PRに活用
- ・防災拠点や避難地として機能充実

公園緑地の整備促進

- ・都市計画公園、緑地の整備促進
- ・児童公園やゲートボール場の整備充実
- ・河川を活用した公園緑地の整備
- ・フラワーラインなどの緑化活動の実施
- ・アウトドア需要に対応した公園緑地の充実
- ・歴史民俗資料館の整備充実

凡	例
— (thick black)	主要幹線道路
— (thick brown)	幹線道路
— (thick yellow)	補助幹線道路
— (blue wavy)	河川
— (yellow)	住宅団地
— (blue)	工場、工業団地
— (light green)	農業地
— (medium green)	丘陵地
— (dark green)	都市計画公園、緑地
— (red circle with dots)	地域の拠点

(5) 赤丸地域

① 土地利用

農村地域

主に農業生産の場として効率的な農林漁業を推進していくものとし、高岡市に近接し工場が多く立地するところは、周辺の農林漁業との調和に努めていくこととする。

丘陵地

自然景観や水源かん養または動植物の生息地として、良好な自然を保全していくものとする。また林産業としての活用やレクリエーション施設としての活用も検討していく。

福祉施設

地域福祉や高齢化対策として、デイケアセンターや特別養護老人ホームの活用を図るとともに、周辺は関連する施設の整備を必要に応じて努めていく。社会福祉センター「こぶし荘」は施設充実を検討するとともに、地域コミュニティの場として活用を努めていく。

アルテン赤丸



② 都市施設

道路、公共交通

県道や町道の道路整備を行い、円滑な交通を確保するとともに、自転車歩行者道の整備により安全性を高めていくこととする。公共交通は利用しやすいバス及び効率的な運行に努めて利用促進を図っていくこととする。

公園緑地

地域に身近な児童のための公園やゲートボール場などの整備充実を図っていく。また浅井神社の杉並木など地域の財産となる緑についても保全し、公園緑地として活用を努めていく。

河川、下水道

地域を流れる河川の治水及び水質向上に努めるとともに、地域に事業認可されている下水道について整備促進して下水道普及に努めていく。

③ 都市景観

自然的景観

まとまって農地が広がる景観は、隣接する西五位地域とあわせて保全していくものとする。またバックグラウンドとなる丘陵地の景観や地域南側を流れる小矢部川の景観についてもあわせて保全していくものとする。

歴史的景観

集落に立地する神社の境内林や文化財に指定されている浅井神社の大けやきや杉並木などは、地域にとって重要な景観として地域ぐるみで保全に努めていく。

浅井神社
杉並木



④ 都市環境

自然環境

丘陵地の緑あふれる自然、農業生産の場としての自然、うるおいある小矢部川の自然など地域の良好な自然の保全に努めていく。自然と居住地が近接しているなかで、自然の保全に対する意識の高揚を図り、美化意識を向上させていくことに努めていく。

防災、公害防止

治山及び治水対策を進めて防災対策に努めていくとともに、緊急防災体制の充実に努めていく。

公害防止として、工場や住宅団地周辺の自然環境を保全していくため、緩衝緑地の整備や水質汚濁防止等に努めていくこととする。

地域別将来構想図（赤丸地域）



- 良好な丘陵地域の保全**
- ・動植物の生息、生育地として保全
 - ・水源かん養、治山のため保全
 - ・林産業の振興と保全
 - ・緑あふれる景観の保全
 - ・レクリエーションとして活用

- 良好な農業・農村環境の保全**
- ・農業生産の場として保全と活用
 - ・農業基盤整備などの農村関連策の実施
 - ・農村環境改善のための施設整備と支援
 - ・田園地帯の景観保全

- 公園緑地の整備促進**
- ・児童公園やゲートボール場の整備充実
 - ・文化財を活用した公園緑地の整備
 - ・河川を活用した公園緑地の整備
 - ・フラワーラインなど緑化活動の実施

- 地域コミュニティを育む施設の整備**
- ・少子化対策として子育て支援施設
 - ・高齢者のためのデイケア施設の整備
 - ・語らいの場の提供
 - ・周辺住民との交流や地域PRに活用
 - ・防災拠点や避難地として機能充実

- 周辺環境への配慮**
- ・周辺の水質保持
 - ・公害を未然に防ぐ施策の実施
 - ・緩衝緑地の整備
 - ・周辺景観との調和

- うるおいある河川空間の整備**
- ・親水空間として活用
 - ・植樹など緑化推進
 - ・自然景観の保全
 - ・水質浄化と環境美化
 - ・下水道の普及促進
 - ・治水対策の実施

- 高齢福祉社会の対応**
- ・施設の整備充実
 - ・需要に応じて関連施設の整備
 - ・在宅サービスなどの充実
 - ・コミュニティ活動の支援
 - ・交流の場の提供
 - ・生きがい対策の充実

- 円滑で安全な交通の確保**
- ・道路交通網の整備
 - ・街路樹などによる沿道緑化の推進
 - ・円滑に交通処理できる幅員の確保
 - ・自転車歩行者道の整備
 - ・利便性が高く効率的な公共交通の整備
 - ・冬期間における除雪体制の充実、消融雪の拡充

- 住宅団地の供給**
- ・核家族化による住宅需要に対応
 - ・土地の有効利用を実施
 - ・周辺景観との調和を推進
 - ・周辺農業地への環境に配慮

社会福祉センター
こぶし荘

デイサービスセンター
特別養護老人ホーム
アルテン赤丸

大げやき
杉並木

小矢部川

凡	例
—	主要幹線道路
—	幹線道路
—	補助幹線道路
—	河川
■	住宅団地
■	工場、工業団地
■	農業地
■	丘陵地
⊙	地域の拠点
○	文化財など